



トリブバン大学

Tribhuvan University



●学生 400,000人 ●教職員 15,200人

ネパール連邦民主共和国

ホームページ <http://www.tribhuvan-university.edu.np/>

交流協定締結年月日：2010年11月2日 主管学部：創造工学部



国際交流の特色

トリブバン大学は、ネパールで最初の大学として1959年に設立された。ネパール全土に60のキャンパスと616の附属施設を持つ、学生数約40万を擁するネパール最大の国立大学である。工学院、農学院、医学院、科学技術院、林学院、社会学部、経営学部、法学部、教育学部など38学部と4つの研究所を擁する総合大学である。セントラル・キャンパスと事務本部は首都カトマンズ市内の南西5キロメートルのギルティブルに位置する。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度 受入・派遣	R4	R5	R6
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	2
研究者・職員の受入	0	0	13
研究者・職員の派遣	0	1	4
オンライン交流参加者（本学）	22	14	7
オンライン交流参加者（相手機関）	22	1	1



▲ R6年創造工学部協定校訪問の様子



▲ 派遣学生による
プレゼンテーション



▲ トレッキング

教員からの声

世界の屋根ヒマラヤの中央部にあるネパールは、美しい山々に囲まれた農業国ですが、毎年のように土砂災害と洪水によって大きな被害を受けています。また、2015年には首都カトマンズ周辺地域が大地震に襲われました。甚大な被害を受けました。今回、寺院を見学した際には、まだ復旧中の建物もありましたが、着実に復興してきています。ヒマラヤの厳しい自然条件と共生し、持続可能な開発を行うには、自然科学、土木・建築技術、公衆衛生、農業と農村支援、環境保全、観光などの産業の振興、法整備といった様々な分野を含む総合的な研究が不可欠です。トリブバン大学と交流し、山岳地域での安全な暮らし方を一緒に探りませんか？

創造工学部教授 野々村敦子

学生からの声

協定校訪問に向けては、英語でのプレゼンテーション練習を繰り返すなど、入念な準備を行いました。その過程で、自分の英語力の向上を実感するとともに、相手に伝える表現や発表方法を工夫する良い機会となりました。現地では、建築物の見学や現地の方々との交流を通して、幅広い分野にわたる知識を学ぶことができました。特に、現地の環境を目の当たりにし、日本のインフラや交通網がいかに高い水準で整備されているかを改めて認識しました。今回の訪問を通して、異なる環境で学ぶことの大切さや、自国の強みと課題を見つめ直す重要性を実感しました。

2024年 協定校訪問参加者 松岡南帆